

# 教頭通信デジタル

令和5年9月21日（木）第45号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 「三石灯りの街」の振り返り

「第20回三石灯りの街」が終了し、2週間が経過しました。Mプロジェクト協議会が中心となり、三石地区の児童・生徒、保護者の方々、地域の方々、教職員等が力を合わせて、灯りの地上絵を完成させました。三石中学校のグラウンドに、19時から21時までの2時間だけ輝いたクジラの地上絵、西館4階から鑑賞した感動を決して忘れることはないでしょう。

三石中学校では「三石灯りの街」の振り返りを新聞にまとめています。10月14日（土）の学習発表会において、体育館に展示する予定です。私（教頭）にとって、新聞づくりといえば【紙に手書き】のイメージです（カラフルな色ペンを使用しながら、デジタルカメラで撮影した写真をプリントアウトし、紙に貼る）。そこは、ICT（デジタル）機器活用の先進校である三石中学校です。生徒たちは1人1台備わっているタブレット端末を使い、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトで新聞を作成していました。優秀な作品（1クラスに1点）は山陽新聞社が主催する『第13回おかやま新聞コンクール』に応募する予定です。学習発表会の楽しみが1つ増えました。ご期待ください。



## 「三石灯りの街」の生徒感想を紹介します!!

- ・協力しないとできないことがたくさんあった。分からないことは地域の方へ聞くことができた。
- ・友達や保護者、そして、地域の方々に助けていただきながら活動することができた。
- ・地域の方々と「三石灯りの街」について話すことができ、楽しかった。
- ・地域の力がとても大きいことに気が付いた。
- ・昔から続く「三石灯りの街」をこれからも大切にしていきたい。
- ・三石地区の伝統を意識して、取り組むことができた。
- ・三石小中学校の児童生徒が地域の方々と関わって創り上げているイベントなので、これからも参加したい。
- ・「三石地区の伝統を伝えたい」という強い思いがあるからこそできる地域行事だと思った。